

本時の展開

- 1 目 標 ・金属の性質をいかした加工方法を知る。
 ・自分の考え方を大切にし、課題の解決を目指すことができる。

2 展 開

学習の流れ	予想される生徒の活動	教師の指導と支援	留意点
前時の確認 課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> 前時までにさまざまな金属の性質を学習し、実際に加工してみたことを思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの確認をする。 見本の金属製品を提示し、加工方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材(低融点金属)も一緒に提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>学習課題 どうしたら見本と同じ形をつくることができるだろうか</p> </div>			
課題解決への努力 課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 提示された見本の加工方法を考え、ワークシートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ヤスリでけずる 切り取る 溶かして固める </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えた加工方法を発表する。 班毎に相談して加工方法を選択する。 班毎に選択した加工方法で見本と同じものを製作してみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> うまく仕上げられない 失敗した 他の班の方法の方がよさそうだからやってみたい うまくできた </div>	<ul style="list-style-type: none"> 考えた加工方法をワークシートに記入させる。 考えた加工方法を聞く。 班毎に加工方法を選択させる。 班毎に選択した加工方法で実際に見本と同じものの製作させる。 製作中に困難が生じた場合は、見通しを立てて自己修正させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作の制限時間も合わせて提示する 道具はあらかじめ予想される加工方法に必要なものを班の数だけ準備しておく。
ま と め 応用・発展	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの班の製作品を提示し、結果を発表する。 鑄造という加工方法を知る。 実際の鑄造の方法を知り、身のまわりの製品にも利用されていることを知る。 次時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの班に製作品を提示させ、結果を発表させる。 鑄造という加工方法を知らせる。 実際の鑄造方法を知らせる。 次時の学習内容を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分ほどのビデオを準備する。

- 3 評 価 ・金属の性質をいかした加工方法が理解できたかを授業での観察とワークシートから評価する。
 ・自分の考え方を大切にし、課題の解決を目指せたかを授業での観察とワークシートから評価する。